

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月8日

上場会社名 株式会社日本触媒

上場取引所 東大

コード番号 4114 URL <http://www.shokubai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 近藤忠夫

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 内海勝議

TEL 06-6223-9111

四半期報告書提出予定日 平成22年2月9日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満は四捨五入して表示)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	176,634	△27.7	11,324	49.6	12,176	51.9	7,850	456.4
21年3月期第3四半期	244,251	—	7,567	—	8,018	—	1,411	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	44.10	—
21年3月期第3四半期	7.86	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	312,898	158,952	49.6	871.26
21年3月期	302,948	151,662	48.8	831.11

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 155,107百万円 21年3月期 147,944百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	8.50	—	7.00	15.50
22年3月期	—	7.00	—		
22年3月期 (予想)				7.00	14.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	245,000	△15.3	13,000	—	13,000	—	8,200	—	46.07

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、6ページ「[定性的情報・財務諸表等] 4. その他」をご覧ください。

## (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	187,000,000株	21年3月期	187,000,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	8,974,274株	21年3月期	8,991,929株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	178,003,808株	21年3月期第3四半期	179,614,315株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、5ページ「[定性的情報・財務諸表等] 3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## [定性的情報・財務諸表等]

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の回復に伴い生産に一部持ち直しの動きが見られるものの、依然として厳しい雇用情勢や引き続き低調な設備投資などにより、先行きが不透明ななかで推移しました。

化学工業界におきましては、中国など新興国での需要が回復しつつあるものの、円高や国内需要の低迷などにより、引き続き厳しい事業環境のなかで推移しました。

## (1) 全体の状況

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減		前連結会計年度
			(金額)	(伸び率)	
売上高	244,251	176,634	△ 67,617	△ 27.7%	289,102
営業利益	7,567	11,324	3,757	49.6%	622
経常利益	8,018	12,176	4,158	51.9%	757
四半期(当期)純利益	1,411	7,850	6,439	456.4%	△ 5,307
1株当たり四半期(当期)純利益	7.86円	44.10円	36.24	461.1%	△ 29.61円
ROA(総資産経常利益率)	3.1%	5.3%	—	2.2ポイント	0.2%
ROE(自己資本当期純利益率)	1.1%	6.9%	—	5.8ポイント	△ 3.3%
為替(\$、EUR)	\$=¥102.86 EUR=¥150.88	\$=¥93.61 EUR=¥133.03		¥△9.25 ¥△17.85	\$=¥100.58 EUR=¥143.66
ナフサ価格	69,600円/kl	39,000円/kl		△30,600円/kl	58,900円/kl

(注) 四半期のROA及びROEは、年換算しております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、販売数量はほぼ前年同四半期並みに推移したものの、原料価格の低下や需給バランスの緩み、円高等の影響によって製品価格が大幅に低下したため、前年同四半期に比べて676億1千7百万円減収(△27.7%)の1,766億3千4百万円となりました。

利益面につきましては、スプレッドの縮小(原料価格の下がり幅以上に製品価格が低下)等はありませんでしたが、引き続き、製造経費、販売費および一般管理費等の各種経費削減を推し進め、より一層の収益改善に取り組んだことにより、営業利益は前年同四半期に比べて37億5千7百万円増益(+49.6%)の113億2千4百万円となりました。

経常利益は、営業外損益が為替差損の減少等により前年同四半期に比べて4億1百万円の増益となったため、41億5千8百万円増益(+51.9%)の121億7千6百万円となりました。

四半期純利益は、前年同四半期に計上した特別損失(投資有価証券評価損等)がなくなったことにより、前年同四半期に比べて64億3千9百万円増益の78億5千万円となりました。

## (2) セグメント別の概況

## ◎事業の種類別

## [基礎化学品事業]

アクリル酸およびアクリル酸エステルは、国内の需要が伸び悩むなかで輸出の販売数量を増加させたものの、原料価格の低下や円高等により販売価格が低下したため、減収となりました。

酸化エチレンおよび高級アルコールは、販売数量を増加させたものの、原料価格の低下に連動して販売価格も低下したため、減収となりました。

エチレングリコールおよびエタノールアミンは、需給バランスの緩み等によって、販売価格、販売数量共に低下したため、減収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業の売上高は、前年同四半期に比べて30.1%減少し、712億6千万円となりました。

営業利益は、各種経費削減を推し進め、さらには、生産・販売数量も増加させたものの、スプレッド縮小の影響が大きかったため、前年同四半期に比べて、24.8%減少し、43億6千8百万円となりました。

## [機能性化学品事業]

高吸水性樹脂は、原料価格の低下や円高等により販売価格が低下したことに加えて、販売数量も僅かに減少したため、減収となりました。

コンクリート混和剤用ポリマーおよび樹脂改質剤は、原料価格の低下や円高等により販売価格が低下したため、減収となりました。

無水マレイン酸および洗剤原料は、販売数量が減少し、さらには、原料価格の低下等により販売価格も低下したため、減収となりました。

粘接着剤・塗料用樹脂および粘着加工品は、販売数量が減少したため、減収となりました。

特殊エステルは、輸出の販売数量を増加させたものの、原料価格の低下等により販売価格が低下したため、減収となりました。

電子情報材料は、主に光学フィルム用材料の販売数量を伸ばしたことにより、増収となりました。

よう素化合物は、販売数量の増加等により、増収となりました。

以上の結果、機能性化学品事業の売上高は、前年同四半期に比べて16.3%減少し、968億6百万円となりました。

営業利益は、各種経費削減を進めたことに加えて、高吸水性樹脂のスプレッド拡大や電子情報材料等の一部製品の増販効果等もあり、前年同四半期に比べて61億2千2百万円増加し、70億1百万円となりました。

## [環境・触媒事業]

自動車触媒は、販売数量の減少に加えて、貴金属価格の低下に連動して販売価格も低下したため、大幅な減収となりました。

プロセス触媒および脱硝触媒は、販売数量が減少したため、減収となりました。

排水処理触媒は、ほぼ前年同四半期並みに推移しました。

以上の結果、環境・触媒事業の売上高は、前年同四半期に比べて67.8%減少し、85億6千8百万円となりました。

営業利益は、プロセス触媒等の生産・販売数量減少の影響が大きかったため、前年同四半期に比べて13億6千8百万円減少し、9千6百万円の赤字となりました。

## ◎所在地別

## [日本]

国内需要低迷による販売数量の減少に加えて、原料価格の低下等により製品価格も低下したため、売上高は前年同四半期に比べて29.0%減少し、1,263億2千1百万円となりました。

営業利益は、スプレッド縮小等の減益要因があったものの、各種経費削減等による収益性の改善が進んだことにより、前年同四半期に比べて21.1%増加し、94億8千4百万円となりました。

## [欧州]

高吸水性樹脂は、販売数量を増加させたものの、原料価格の低下や円高等により販売価格が低下したため、売上高は前年同四半期に比べて17.0%減少し、242億6千3百万円となりました。

営業利益は、スプレッドの拡大や増販効果等で収益性が改善したことにより、赤字から黒字に転換し、6億1千7百万円となりました。

## [アジア]

コンクリート混和剤用ポリマー、アクリル酸およびアクリル酸エステルの販売数量を増加させたものの、高吸水性樹脂の販売数量が減少し、さらには、原料価格の低下や円高等により販売価格も低下したため、売上高は前年同四半期に比べて32.2%減少し、160億5千8百万円となりました。

営業利益は、高吸水性樹脂の生産・販売数量減少の影響が大きかったため、前年同四半期に比べて5千2百万円減少し、4億5千2百万円となりました。

## [その他の地域]

高吸水性樹脂、コンクリート混和剤用ポリマーおよび洗剤原料は、販売数量の減少に加えて、原料価格の低下や円高等により販売価格も低下したため、売上高は前年同四半期に比べて26.2%減少し、99億9千2百万円となりました。

営業利益は、スプレッドの拡大等で高吸水性樹脂の収益性が改善したことにより、赤字から黒字に転換し、1億6千2百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて99億5千万円増加の3,128億9千8百万円となりました。たな卸資産は減少したものの、売上債権や有形固定資産が増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて26億6千万円増加の1,539億4千6百万円となりました。借入金の減少や第5回無担保社債の償還があったものの、仕入債務が増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて72億9千万円増加の1,589億5千2百万円となりました。利益剰余金やその他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものです。

自己資本比率は、前連結会計年度末の48.8%から49.6%へと0.8ポイント増加しました。なお、1株当たり純資産額は、前連結会計年度末に比べて40.15円増加の871.26円となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、設備投資等の投資活動によるキャッシュ・フローの支出及び借入返済等の財務活動によるキャッシュ・フローの支出が、営業活動によるキャッシュ・フローを上回ったため、前連結会計年度末に比べて7億9千3百万円減少の286億5千8百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間の81億3千2百万円の収入に対し、320億9千8百万円の収入となりました。売上債権の増加はあったものの、税金等調整前純利益や仕入債務が増加し、また法人税等の還付があったことなどによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間の105億2千7百万円の支出に対し、167億9千2百万円の支出となりました。有形固定資産の取得による支出が増加したことなどによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第3四半期連結累計期間の35億1千7百万円の収入に対し、163億4百万円の支出となりました。第5回無担保社債の償還や借入金返済による支出が増加したことなどによるものです。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの通期連結業績見通しにつきましては、第3四半期が好調に推移したものの、第4四半期では国産ナフサ価格の上昇等が予想されるため、平成21年11月5日に公表しました連結業績予想を売上高2,450億円、営業利益および経常利益130億円、当期純利益82億円といたします。

前回予想から、売上高は100億円増加しておりますが、利益面の変更はありません。

なお、第4四半期のナフサ価格は50,000円/キロリットル(前回予想：43,000円/キロリットル)、為替レートは90円/米ドル、120円/ユーロ(前回予想通り)を想定しております。

事業セグメント別の通期業績予想は次の通りです。

(億円)

	基礎化学品事業		機能性化学品事業		環境・触媒事業	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
前回発表値 (A)	940	45	1,280	85	130	0
今回発表値 (B)	1,000	45	1,320	85	130	0
増減額 (B-A)	60	—	40	—	—	—

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これによる当第3四半期連結累計期間における売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。なお、セグメント情報に与える影響は軽微であるため、記載を省略しております。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,862	29,925
受取手形及び売掛金	64,329	52,904
商品及び製品	21,088	21,363
仕掛品	6,663	7,068
原材料及び貯蔵品	11,716	13,930
その他	8,389	12,961
貸倒引当金	△226	△251
流動資産合計	140,822	137,900
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	39,628	45,382
その他(純額)	85,159	74,103
減損損失累計額	△2,998	△3,031
有形固定資産合計	121,789	116,454
無形固定資産		
のれん	1,509	1,848
その他	2,280	2,140
無形固定資産合計	3,789	3,987
投資その他の資産		
投資有価証券	31,357	27,988
その他	15,453	16,944
貸倒引当金	△311	△324
投資その他の資産合計	46,498	44,607
固定資産合計	172,076	165,048
資産合計	312,898	302,948
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,317	23,196
短期借入金	26,203	28,950
1年内返済予定の長期借入金	9,492	12,614
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払法人税等	1,734	405
引当金	3,116	4,164
その他	13,197	12,514
流動負債合計	92,059	86,842
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	35,987	38,775
退職給付引当金	8,560	8,465
その他	2,340	2,205
固定負債合計	61,887	64,444
負債合計	153,946	151,286

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	16,529	16,529
資本剰余金	13,574	13,562
利益剰余金	138,136	132,778
自己株式	△7,974	△7,970
株主資本合計	160,265	154,900
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,334	41
繰延ヘッジ損益	△53	△155
為替換算調整勘定	△6,439	△6,842
評価・換算差額等合計	△5,158	△6,955
少数株主持分	3,845	3,717
純資産合計	158,952	151,662
負債純資産合計	312,898	302,948



(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	244,251	176,634
売上原価	207,765	140,115
売上総利益	36,486	36,519
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	11,084	8,923
人件費	5,218	5,156
研究開発費	8,262	7,429
その他	4,354	3,686
販売費及び一般管理費合計	28,919	25,195
営業利益	7,567	11,324
営業外収益		
受取利息	165	116
受取配当金	794	432
持分法による投資利益	759	876
不動産賃貸料	749	753
その他	1,742	740
営業外収益合計	4,209	2,916
営業外費用		
支払利息	1,079	939
為替差損	1,506	326
その他	1,174	799
営業外費用合計	3,758	2,064
経常利益	8,018	12,176
特別損失		
投資有価証券評価損	2,873	—
損害賠償金	246	—
特別損失合計	3,120	—
税金等調整前四半期純利益	4,898	12,176
法人税、住民税及び事業税	1,614	1,559
法人税等調整額	1,778	2,595
法人税等合計	3,392	4,153
少数株主利益	96	173
四半期純利益	1,411	7,850

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,898	12,176
減価償却費	13,694	11,589
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,873	—
損害賠償損失	246	—
受取利息及び受取配当金	△959	△547
支払利息	1,079	939
持分法による投資損益 (△は益)	△759	△876
売上債権の増減額 (△は増加)	851	△11,362
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,815	2,986
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,607	14,959
その他	△226	683
小計	13,277	30,547
利息及び配当金の受取額	1,886	1,013
利息の支払額	△992	△948
損害賠償金の支払額	△246	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△4,519	1,487
その他の支出	△1,274	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,132	32,098
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△11,734	△17,083
投資有価証券の売却による収入	598	2
その他	610	289
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,527	△16,792
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	9,069	△2,897
長期借入れによる収入	5,504	1,000
長期借入金の返済による支出	△5,967	△6,894
社債の償還による支出	—	△5,000
配当金の支払額	△2,970	△2,492
少数株主への配当金の支払額	△18	△16
自己株式の取得による支出	△2,095	△12
その他	△7	6
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,517	△16,304
現金及び現金同等物に係る換算差額	△84	205
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,038	△793
現金及び現金同等物の期首残高	21,371	29,450
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,409	28,658

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## ①事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	基礎化学品 (百万円)	機能性化学品 (百万円)	環境・触媒 (百万円)	合計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	101,994	115,615	26,642	244,251	—	244,251
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	28,506	1,404	1,635	31,545	(31,545)	—
計	130,499	117,019	28,278	275,796	(31,545)	244,251
営業利益又は営業損失(△)	5,808	879	1,273	7,961	(393)	7,567

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	基礎化学品 (百万円)	機能性化学品 (百万円)	環境・触媒 (百万円)	合計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	71,260	96,806	8,568	176,634	—	176,634
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,191	977	751	16,919	(16,919)	—
計	86,451	97,783	9,320	193,553	(16,919)	176,634
営業利益又は営業損失(△)	4,368	7,001	△ 96	11,274	51	11,324

(注) 1 事業区分は、事業の種類・性質の類似性等を勘案して決定しております。

2 各事業区分の主な製品

- (1) 基礎化学品事業 アクリル酸、アクリル酸エステル、酸化エチレン、エチレングリコール、エタノールアミン、高級アルコール、グリコールエーテル
- (2) 機能性化学品事業 高吸水性樹脂、医薬中間原料、コンクリート混和剤用ポリマー、電子情報材料、よう素、無水マレイン酸、粘接着剤・塗料用樹脂、樹脂成形品、粘着加工品
- (3) 環境・触媒事業 自動車触媒、脱硝触媒、ダイオキシン類分解触媒、プロセス触媒、排ガス処理装置

## ②所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	合計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	177,806	29,221	23,678	13,546	244,251	—	244,251
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,220	57	1,122	203	25,603	(25,603)	—
計	202,027	29,278	24,800	13,749	269,854	(25,603)	244,251
営業利益又は営業損失(△)	7,830	△ 335	504	△ 1,494	6,505	1,062	7,567

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア (百万円)	その他の 地域 (百万円)	合計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	126,321	24,263	16,058	9,992	176,634	—	176,634
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,085	57	79	167	17,389	(17,389)	—
計	143,406	24,320	16,137	10,159	194,023	(17,389)	176,634
営業利益又は営業損失(△)	9,484	617	452	162	10,716	609	11,324

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 欧州 ……………ベルギー

(2) アジア ……………シンガポール、インドネシア、中国

(3) その他の地域 北米……………米国

## ③海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	38,975	33,673	18,768	13,996	105,413
II 連結売上高(百万円)					244,251
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	16.0	13.8	7.7	5.7	43.2

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	アジア	欧州	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	29,847	27,666	14,172	10,639	82,325
II 連結売上高(百万円)					176,634
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	16.9	15.7	8.0	6.0	46.6

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア ……………東アジア及び東南アジア諸国

(2) 欧州 ……………ヨーロッパ諸国

(3) 北米 ……………北アメリカ諸国

(4) その他の地域 ……………アジア、欧州、北米及び本邦を除く国又は地域

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高の合計金額であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。